

⚠️ 取付け作業前にご確認下さい。

- ・錠前製品の特質上「未開封」「未使用」であっても、返品交換をお受けできない商品がございます。必ず、実際に設置されている錠前と、交換用製品の形状や寸法が適合しているかご確認下さい。
- ・作業中はストッパーなどでドアを開けた状態で行って下さい。
- ・取付けされている固定ネジは再利用します。無くさないよう保管して下さい。



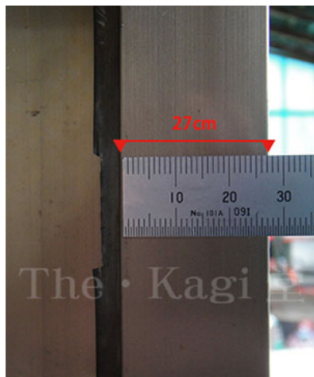
1. KABA StarNeo 6800 する手順を説明していきます。引戸錠の取外し方は、[引戸錠交換方法](#)をご覧ください。



2. 既存の引戸錠を外すと切欠き穴(取付け穴)が現れます。図のように内障子と外障子の切欠き穴がズれている場合は、上手く錠が取り付けられないので調整をします。



3. 引戸下部にある調整戸車の穴にドライバーなどを差し込み、回して切欠き穴の位置を調整しましょう。



4. 次に、交換品6800錠本体の調整と必要部品を用意していきます。まずは、加工や化粧板の選定基準となる「扉厚」を測ります。図では「27mm」になります。

化粧座、ライナーを表中の指示枚数以上に取付の際は、

材質仕上	数	2	2	2	3	2	4	2	5	2	6	2	7	2	8
ステンレス	2														
ステンレス	1														
樹脂(黒)	2														
樹脂(黒)	2														
木目上り化粧	1														
木目上り化粧	1														
ステンレス	1														
樹脂(黒)	2														
樹脂(黒)	2														
鉄クローゼット	1														
鉄クローゼット	4														

5. 付属の取付説明書内に記載の「扉厚部品選定表」で必要部品を確認をします。今回は扉厚「27mm」なので、黄色の箇所になります。



6. 外部長座のドライバーから調整していきます。「扉厚部品選定表」ではドライバーの外側から「2コマカット」になります。



7. シリンダー部分を外します。



8. シリンダーが外れます。



9. サンダーや金ノコなどの切断工具で2コマ分

外部長座裏側のシリンダー上にある固定ネジをプラスドライバーで外し、固定金具を上スライドさせて外します。

切断します。



10. 内部長座のドライバーも外部長座同様に「扉厚部品選定表」を確認し「2コマカット」します。



11. 次に、付属のライナーを準備します。外部長座側、内部長座側それぞれに「板厚3mmライナー」を1枚ずつ使用します。



12. 長座とライナーを図のように重ね、外した手順とは逆に取付けていきます。



13. 室内側から外部長座と外部ケースをプラスドライバーでネジを固定します。



14. 内側長座も同じように、内部ケースと固定します。



15. 付属の芯出し棒を内部長座の芯出し棒差込み穴から図のように差込み、内外部錠にズレがないか確認します。



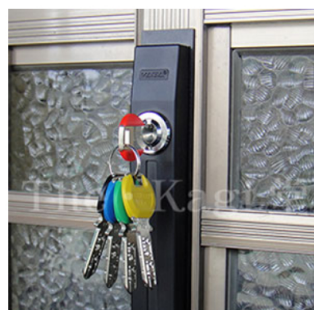
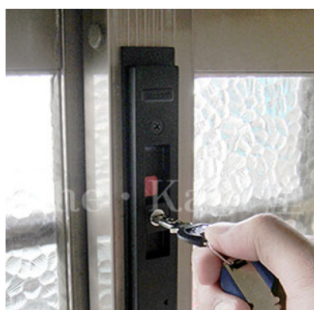
16. ピンを通したときのイメージです。奥までピンが到達すれば正常です。



17. さらに、固定用タッピングネジで内外部ケースを固定するためにドリルでネジ穴を開けます。



18. ドリルで開けた穴にプラスドライバーで、固定用タッピングネジを固定します。





19. 最後に、実際のキーで操作し、内外部の動作確認をしていきます。
図は、内部防犯サムターンを施錠し、サムターンが動かなくなる確認しています。



20. 同じく、外部長座もキーで問題なく施解錠が行えるか確認し、作業完了です。

[▲ページトップ](#)